

あさのちゃんねる

vol.27

2018年 秋号
(年4回発行)

特集

「北陸3県で唯一の導入、 頭部専用 定位放射線治療装置 ガンマナイフパーフェクション」

脳神経外科部長・定位放射線外科センター長
光田 医師インタビュー



連携登録医のご紹介

ひまわり皮膚科

院長 松下 幸世 先生



今年も病院祭に
ご来場いただき、
ありがとうございました！

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

北陸3県で唯一の導入、 頭部専用 定位放射線治療装置 ガンマナイフ パーフェクション

2018年10月、頭部専用の定位放射線治療装置であるガンマナイフの最新機種「ガンマナイフパーフェクション」を導入しました。脳内疾患、がんの治療はどう変わるのか、患者さんにどんな利点があるのか、脳神経外科医である光田幸彦医師にお話を聞きました。

切らずに、ピンポイントで 脳内疾患を治療できる

ガンマナイフはメスを使わない放射線治療装置です。ガンマ線を病変に集中的に照射するため、周辺の正常な脳細胞を傷つけることなく治療ができます。当院は1997年7月に北陸で初めてガンマナイフを導入しました。その後、2005年のバージョンアップを経て、2018年10月に最新機種であるガンマナイフパーフェクションを導入しました。主な対象疾患は転移性脳腫瘍、悪性脳腫瘍、良性脳腫瘍、血管奇形、症候性てんかん（脳内疾患が原因で発症）、三叉神経痛などです。なかでも転移性脳腫瘍の患者さんが最も多く、当科の治療症例の7割を占めています。現代のがん治療はめざましく進歩し、治療しながらがんと共に生き方が増えています。その反面、がんである期間が長くなると転移の可能性が高まり、転移性脳腫瘍が増加傾向にある

脳神経外科部長・定位放射線外科センター長

こうだ ゆきひと
光田 幸彦

日本脳神経外科学会専門医
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医

趣味・健康法

ランニング、ボウリング

座右の銘

継続は力なり

診察日

火曜（予約）・木曜



のです。他には悪性腫瘍のひとつであるグリオーマや良性腫瘍の聴神経腫瘍を多く治療しています。導入以来、当院のガンマナイフによる治療症例数は5,900例(2018年9月現在)を超えました。北陸3県の医療施設からの依頼も含めると、年間およそ300人の患者さんを治療しています。今回の新機種導入により1日の治療数を増やすことができ、これまで以上に早い対応が可能になります。

入院は基本的に2泊3日、 身体への負担が少ない

ガンマナイフは患者さんの身体への負担が少ないことが特徴です。全身麻酔を伴う開頭手術の場合、体力がある若い方でも2週間ほどの入院が必要ですが、ガンマナイフ治療の入院期間は基本的に治療日も含めて2泊3日です。退院後すぐに普通の生活に戻ることができ、仕事をされている方なら早く職場復帰できることもメリットです。

最新機種は全自動化されており、治療時間はこれまでのバージョンと比べ大幅に短縮できます。元々少なかった被ばく量もさらに減少しました。新機種では寝台ごと可動するようになったため、患者さんは寝たまの楽な姿勢で治療を受けることができます。可動範囲が広がった分、治療範囲も広がり、多発性脳転移の場合でも基本的に1度の治療で完了できます。治療前に、頭蓋固定用フレームを装着するため、頭の4箇所に局所麻酔をします。その際に軽度の痛みはありますが、麻酔が効けば感じなくなり、治療中も痛みはありません。副作用は10人に1人の割合で、脳がむくんだ状態になる脳浮腫の症状が出ることがありますが、一時的なものであり、服薬や点滴の治療で対処できます。症候性てんかんの場合は放射線が刺激となり、数日間は発作が起きやすくなることもあります。それも薬を注射することでコントロールできます。

複合手術など、 治療の選択肢が増える

ガンマナイフの登場により、これまでさまざまな理由で脳内疾患の治療をあきらめていた方の選択肢が増えました。例えば、高齢者やがん治療で体力が低下した方など開頭手術ができない場合、身体への負担が少ないガンマナイフ治療が適しています。化学療法が効かない場合や脳深部の疾患でも効果を発揮します。多発性脳転移の

場合、75歳までの患者さんには脳全体に放射線をあてる全脳照射をすることが一般的ですが、認知機能の低下など副作用があるため、病変の数によってはガンマナイフ治療を優先します。現在、1度の治療箇所が10カ所まではガンマナイフで安全に治療できることがわかっており、最新機種のパーフェクションならさらに多くの病変への対応が見込めます。また、腫瘍が大きく、開頭手術で病変すべてを取ろうとすると、顔面麻痺など神経系の副作用が出る可能性が高い場合、神経に近い部分だけガンマナイフで照射する複合治療が安全です。

ガンマナイフで治療できるのは、基本的に3cm以下の病変です。それ以上の大きさの場合、体力がある方なら開頭手術をするか、ノバリスでの治療を行います。ノバリスとはガンマナイフと同様の定位放射線治療装置で、ガンマナイフが頭部専用であるのに対し、全身の治療ができます。何度かに分けて治療をする分割照射が比較的簡単にできるため、大きな病変の治療に向いています。当院は2004年9月に日本で初めてノバリスを導入し、治療症例数は4,000例を超えています。

患者さんからの言葉が 医師としての力に

私は京都の出身で、大学入学のために金沢へ来ました。金沢大学大学院での研究を終えて当院に入り、20年間、ガンマナイフの治療に携わっています。長年勤務していると、患者さんから「以前、家族がお世話になりました。ここなら安心して治療が受けられます」と声をかけていただくことがあり、励みになります。開頭手術と放射線治療の両方を担当でき、患者さんを健康にできることはやりがいが大きいです。ガンマナイフとノバリスは副作用が少ない治療法なので、生活の質を落とさずに脳内疾患の治療ができるケースが多くあります。脳内疾患のことでお悩みの方はお気軽に受診し、ご相談ください。



！ ガンマナイフとは

開頭せずに、脳腫瘍などの脳内疾患を治療する頭部専用の定位放射線治療装置です。虫眼鏡で光を集めるようにして、ガンマ線を脳の病変に集中して照射します。体にメスを入れることなく、しかしまるでナイフを使ったかのように高精度な治療が可能です。ガンマナイフ治療は保険適応であり、世界で累計112万人以上、日本国内でも23万人以上の患者さんが治療を受けている安全な治療です。



平成30年10月に新しく導入されたガンマナイフパーフェクション

！ 適応疾患

転移性脳腫瘍、聴神経腫瘍、髄膜腫、下垂体腺腫、脳動静脈奇形、三叉神経痛 など

！ 治療について

北陸地方でガンマナイフ治療を行っているのは唯一当院のみです。1997年に導入して以来、治療数は5,900例を超え、良好な治療成績を得ています。

- ✓ 原則2泊3日の入院で治療します。
- ✓ 患者さんは楽な姿勢で横になっているだけで治療が終了します。
- ✓ 患者さんの体への負担が少なく、退院後は治療前と変わらない生活に戻ることができます。



ガンマナイフ治療は痛みが伴わず、短時間で終了するため、通常の開頭手術で行われる全身麻酔や長期入院の必要がありません。

！ 治療までの流れ・ご相談について

紹介状と画像データを脳神経外科外来宛てにご送付ください。(医療機関またはご本人から)

紹介状と画像データを参考に、ガンマナイフ治療の適応であることを確認した上で、外来受診日を調整します。診察・説明を受けていただき、ガンマナイフ治療に同意いただけましたら、入院・治療日を決定します。ご不明な点がございましたら、脳神経外科外来までお問い合わせください。



お問い合わせ先

医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院

脳神経外科外来 〈月～金〉14時～16時 TEL: 076-252-2101 (代)

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市三池栄町の

『ひまわり皮膚科』をご紹介します。

平成26年5月に「ひまわり皮膚科」を開院いたしました。標榜科は皮膚科・アレルギー科でアトピー性皮膚炎・^{じんましん}蕁麻疹・^{はくせん}白癬(水虫、たむし)等の一般的皮膚疾患から軽症の熱傷・外傷まで皮膚疾患全般を診ております。難治患者さんは病院へご紹介させていただいておりますが、浅ノ川総合病院さんには入院適応のある患者さんの引き受けや、形成外科での手術、放射線科での画像診断など多くの診療科の先生方にお世話になっております。この誌面をお借りして改めて御礼申し上げます。

この地域で生まれ育った私にとっては、子供達からお年寄りまで多くの患者さんのお役にたてるのが喜びであり、今後とも浅ノ川総合病院さんと連携を深めつつ、地域医療に貢献したいと考えております。

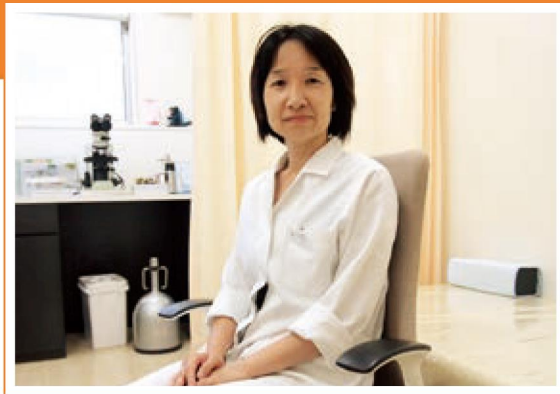
今後どうぞよろしくお願いいたします。



外 観



紫外線治療機
(ナローバンドUVB)



院長 松下 幸世 先生

ひまわり皮膚科

診療科：皮膚科、アレルギー科
専門領域：皮膚科全般、アレルギー性疾患
略 歴：石川県金沢市出身
筑波大学卒業
金沢大学皮膚科学教室を経て、
平成26年 金沢市三池栄町に開業。

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	/	○	○	/	/
14:30~18:00	○	○	/	○	○	/	/
9:00~13:00	/	/	/	/	/	○	/

※受付は診療終了時間の30分前までにお願いいたします。
休診日：水曜、土曜午後、日曜日、祝日

住 所：〒920-0809
石川県金沢市三池栄町77番地
電 話：076-253-0255
駐 車 場：あり
アクセス：東金沢駅西口より徒歩7分



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

近年、耐性菌をはじめとする院内感染対策の重要性がますます大きくなっています。浅ノ川総合病院では、医療に携わるスタッフ全員で院内感染対策に取り組んでいます。感染対策室のメンバーは、室長の米山医師、専従の江波看護師、兼任の上島看護師が在室しています。また、道輪医師、南薬剤師、大門薬剤師、泉屋検査技師、片山検査技師、紺野理学療法士、月村管理栄養士のチームで活動をしています。

1

院内感染対策委員会及び緊急感染症予防対策会議の設置と開催

院内感染対策の周知および実施を迅速に行うため、病院内の各部門の代表者で構成する横断的な委員会を毎月開催し、院内の感染症発生状況の把握と対策について検討しています。

2

監視対象菌サーベイランス

細菌検査室と連携し、病院内の感染症の発症状況及び病原菌の検出状況をリアルタイムに情報収集を行い、院内で病原菌が拡散していないことを確認しています。

3

院内巡回

院内感染の発生を未然に防ぐことができるように、主に病棟巡回を週1回行い、療養環境や医療器具が挿入された患者さんの管理状況を確認し、感染対策の指導を行っています。

4

抗菌薬適正支援

感染症専門医、薬剤師、細菌検査担当検査技師、看護師のチームで、広域抗菌薬使用患者の抽出と抗菌薬適正支援を行っています。



5

ICTリンクナース会との連携

ICTリンクナースとは、感染対策室と連携し各部署単位で活動する看護師です。院内感染に関連する知識や技術などの習得や病棟のデータを収集し解析と評価を行い各病棟の感染防止対策の改善に努めています。

6

職員研修会の開催

院内感染防止対策の基本的考え方および具体的方策について、病院職員へ周知徹底を図るために年4回以上研修を開催しています。



7

地域連携による感染防止対策カンファレンスの開催

地域の医療機関同士で感染対策を評価し、対策を強化しています。



8

手洗いの推進

感染対策は手洗いが基本となります。当院では感染対策室とリンクナースが中心となり、手洗いが必要な場面を職員に教育し、定期的に監査することによって院内感染を減らす努力をしています。



浅川総合病院 病院祭 2018

開催しました!

平成30年10月13日(土)「病院祭2018」を開催しました。

当日は秋の晴天に恵まれ、300名を超える来場者で盛り上がりました。

今年は子供を対象とした職場体験イベント「ミニキッズニア」を行い、子供達はお気に入りの手術着やナース服に着替え、看護師体験、薬剤師体験、栄養士体験、腹腔鏡手術体験に慣れないながらも奮闘していました。特設ステージでは特別講演、オータムコンサート、寸劇が行われたほか、石川県歯科医師会さんによる「あなたのお口歯援コーナー」、地域包括支援センターふくひささんによる「昭和の手遊び」、北陸大学さんによる「漢方薬と薬茶試飲、AED操作体験」、JA石川かほくさんによる「農産物加工品販売」などが行われました。「あさのちゃん」とJA石川かほく「ほくの里」、JAバンク「ちょリス」がコラボで登場するなど、笑いにあふれたイベントとなりました。

今後も当院は地域に開かれた病院として、みなさまとふれあい、交流していきたいと思います。



ミニキッズニア



体験コーナー



ソフトクリーム屋さん



特別講演



あさのがわ
オータムコンサート2018



職員による寸劇



ご来場ありがとうございました!
来年もご期待ください!



行事レポート

あさのがわサマーコンサート2018を開催しました！

平成30年8月4日(土)当院の講義室で「あさのがわサマーコンサート2018」を開催しました。

昨年に引き続き「金沢市民合唱団こはる組」様をお招きし、素敵な合唱で盛り上がりました。

グループにわかれて「ドレミのうた」を合唱したり、仮装した団員に合わせ懐かしい故郷を想いながら歌ったり、たのしいひとときを過ごしました。今後も様々なイベントを通じて地域の皆様と交流し、「地域から選ばれる温もりのある病院」を目指します。



大規模災害訓練を実施しました

平成30年9月15日(土)に、大規模災害全体訓練を行いました。

平日診療日の午前10時に震度5強の地震が発生。電力供給・水道水提供は停止した災害想定で、100名を超える職員が訓練しました。

訓練内容

災害対策本部、新設部門の設置、
各トリアージエリアから傷病者の受け入れ、
救急車受け入れ、処置、入院・転院対応 等



今後も日ごろから防災意識を高め、大規模災害に備えていきます。



日帰り人間ドック 期間限定割引のご案内



日帰り人間ドックを期間限定割引します。是非この機会にご利用ください。

割引実施期間 平成31年1月4日～2月28日

対象 個人でお申込みの方

料金	日帰りドックAコース	16,150円(通常料金19,000円)※税別
	日帰りドックBコース	25,500円(通常料金30,000円)※税別

割引率
15%

※市町村・企業の補助を受けられる方は割引対象外です。

※すでに上記期間にご予約された方にも、割引料金を適用させていただきます。

お問い合わせ先 浅ノ川総合病院 健診センター **TEL** 076-252-2101(代)

お知らせ

❖「平成30年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」を開催します。

平成30年11月5日(月) 17:00～ 浅ノ川総合病院 本館3階 講義室

❖「平成30年度 浅ノ川病院グループ地域連携交流会」を開催します。

平成30年11月16日(金) 19:00～ ホテル金沢2階「ダイヤモンドB」

❖ 年末年始休診のお知らせ

平成30年12月29日(土)午後診療～平成31年1月3日(木)まで、年末年始のため外来診療を休診いたします。(救急の場合は救急外来で対応します)

❖ インフルエンザ予防接種予約について

インフルエンザ予防接種は予約制となります。ご予約については各科外来窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL: 076-252-2101(代) **URL**: <http://www.asanogawa-gh.or.jp/>

メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

